



佐織中だより

～ 多様な「幸せ」実現 ～

愛西市立佐織中学校

第5号

令和6年5月10日

(発行者) 佐古 達哉

♪ 夏につながる「熱戦」

待ちに待ったゴールデンウィークも終わり、連休前や連休中日は少し落ち着かない様子だった子どもたちも、気持ちを切り替えて落ち着いた学校生活を取り戻しつつあります。

ゴールデンウィーク期間には「春季大会」が開催された部活動も多く、それぞれのチームが夏の中総体のリード権などをかけて、チームで団結しながら、まさに「熱戦」を繰り広げました！



4月に入って気温も一気に高くなってきたことから、4月最終週からは職員室で「熱中症指数」を掲示して学校全体で熱中症の予防に努めています。今のところ、気温が25℃を超える日が「時々ある」という気候ですが、気温が高い日でも湿度が低いおかげでWBGT指数が「原則運動禁止」の目安となる31℃を超えることなく過ごしています。ただ、寒かった時期からの変わり目ということで、体の代謝が放熱に対して十分適応していない面も考えられるため、子どもたちの様子に十分注意をしながら最後の「夏」に向けた仕上げの活動を進めようと思います。ぜひご家庭でも、十分な水分摂取や体調管理に留意していただき、子どもたちの活動を応援していただきますよう、ご協力をお願いいたします。

ちなみにゴールデンウィークに入っところから、気温が高くなる日が続いたおかげか、学校の来賓玄関前のフランス菊が満開となっています。学校ホームページの5月2日の記事でもその様子を紹介していますが、この花の由来や意義を多くの方に知っていただき、一人でも多くの人に「アイリンブルー」の思い・願いをつなげてもらえたらと願います。3年生の皆さん、修学旅行に出発する前に（そしてできれば満開のうちに）、ぜひ自分の目でこの花を見たいうで、東北を訪れてください！

WBGT指数	気温(参考値)	運動の目安
33℃以上	33℃以上	特異な場合は、運動を中止する。特に子どもの場合には中止すべき。
31℃以上	31℃以上	原則運動禁止
28～31℃	31～33℃	高湿度の危険が強い。暑い場所や日陰など、体温が上昇しやすい状態は避ける。10～20分おきに休憩をとり、水分・塩分の補給をする。
26～28℃	28～31℃	暑い運動では、30分おきに休憩。熱中症の危険が増すため、積極的に水分・塩分の補給をする。
24～26℃	24～28℃	熱中症の危険に注意する。運動の際は、積極的に水分・塩分の補給をする。
21～24℃	24℃未満	熱中症の危険性は低い。水分・塩分の補給は必要である。市民マラソンなどは、この条件でも熱中症が発生する。

